

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラムポスター一覧

(一般型)

【本部】

登録番号	担当部署	募集人数	テーマ
1702一本01	中南米部 計画・移住課	1	2017年度日系社会次世代育成研修(高校生招へいプログラム)インターンシップ
1702一本02	地球環境部防災グループ防災第二チーム	1	防災の主流化に関する実績・事例のとりまとめ及び成果発信・広報関連業務
1702一本03	産業開発・公共政策部 資源・エネルギーグループ第一チーム	1	電力・エネルギー分野における国際協力に関する情報収集/同分野におけるJICA事業に係る各種補助業務
1702一本04	青年海外協力隊事務局	1	日系社会ボランティアの広報ツール(パンフレット等)の企画・作成
1702一本05	研究所	1	日本の国際教育協力の歴史
1702一本06	研究所	1	留学のインパクトにかかる研究
1702一本07	研究所	1	研究プロジェクト「アジアのインフラ需要推計」における都市鉄道・高速鉄道の需要推計

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム

一般型/中期型

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1702一本01
■部署名/事務所名:	中南米部	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名:	計画・移住課		
■テーマ			
2017年度日系社会次世代育成研修（高校生招へいプログラム）インターンシップ			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>JICAは、前身である海外移住事業団から継続し、戦後の国の政策による主に中南米への移住者に対して、移住先国での定着と生活の安定を図るための支援を行ってきました。現在は、時の流れとともに日系社会の成熟や世代交代が進んだことによる課題に対応するため、高齢者福祉や人材育成を中心とした移住者・日系人支援に取り組んでいます。係る状況の下、JICAは2015年度より本事業対象国に生活基盤のある日本の高校生に相当する移住者子弟を日本に招き、日系社会の発展の貢献に十分な素質のある者に対し、次世代を担う人材を育成する日系社会次世代育成研修（高校生招へいプログラム）を実施しています。</p> <p>本研修では、日本人の海外移住の歴史に関する学習、その他各種研修を通じて自分たちのルーツ、日本の文化、習慣等を学んでもらい、日本に対する理解を深めることで、自らの日系人としてのアイデンティティを強化すること、また研修の中で自らの考えを発信する機会を持ち、日本で得た知識、研修の成果を基に、日系社会をリードする発信力のある人材を育成することを目的としています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>今回募集するインターンは、中南米地域への海外移住者子弟の日系社会の次世代を担う人材の育成強化を図るために、本研修の約1ヶ月間を密着し、同研修の実施支援等を通じて、中南米地域への海外移住者子弟に対する支援ニーズ、内容や課題について情報収集・分析を行い、今後のJICAの日系社会次世代育成研修のあり方について考察し、提案をレポートにまとめて報告していただきます。具体的な実習内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知日派・親日派育成を目的とした招へい・研修の実績および最近の傾向分析 2. 研修参加者、研修講師、国内有識者に対するヒアリング等 3. 研修実施支援（各種調整・監理業務補助、準備作業、研修員との意見交換、視察への参加等） 4. 本邦受け入れ先や研修プログラムの内容について検討、日系人材の育成強化（案）の提案・報告 			
■参考情報			
<p><日系社会次世代育成研修（高校生招へいプログラム）の概要> https://www.jica.go.jp/regions/america/high_school.html</p> <p><募集要項> https://www.jica.go.jp/brazil/portuguese/office/activities/c8h0vm00009kjo1l-att/nikkeis01_01_05_01.pdf</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
2018年1月第2週から約1ヶ月間			
■受入時期・期間			
2018年1月から2月もしくは3月までの1~2ヶ月間程度			
<input type="radio"/> 調整可 <input checked="" type="radio"/> 調整不可 理由: 研修プログラムの全日程に参加のため			
■希望する人材		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人可		特になし	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日系人・日系社会等への関心・活動経験があることが望ましい。 2. スペイン語またはポルトガル語でのコミュニケーション能力（日常会話程度）を有することが望ましい。 			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
■備考・留意点			

2016年度第二回JICAインターンシップ・プログラム

一般型

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1702一本02
■部署名/事務所名:	地球環境部	■募集人数 (人)	1人
■課名/プロジェクト名:	防災グループ		
■テーマ			
防災の主流化に関する実績・事例のとりまとめ及び成果発信・広報関連業務			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>2015年3月に仙台市で開催された第3回国連防災世界会議において、今後の国際的な防災の指針である「仙台防災枠組2015-2030」が国連加盟186か国によって採択されました。日本政府は同枠組採択の準備段階において、日本がこれまで行ってきた災害対策の経験をインプットしており、その中の1つが①防災が国の重要課題として広く認識され、②あらゆるセクターに防災の視点が含められ、③防災事業へ割り当てられる予算が増加するといった、いわゆる「防災の主流化」です。日本政府は、同会議において、各国における防災の主流化の重要性を訴えており、防災分野の国際協力を実施するODA実施機関であるJICAへの期待は大きくなっています。</p> <p>JICAは、仙台防災枠組を推進すべく、2017年11月に「世界防災フォーラム2017」においてプレナリーセッションを実施し、防災の主流化を含めた防災への事前投資の重要性を訴える予定です。また、2018年7月には「アジア防災閣僚会合」がモンゴルで開催され、JICAは各国への防災協力の成果をさらに発信していく予定です。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>1. 日本における防災の主流化の事例の継続的なレビューを支援していただきます。道路、橋梁、港湾、空港、鉄道、電力等、インフラ分野における防災の主流化事例をインターン期間で分析することを期待しますが、上記事例以外の教育、保健医療等の他分野でも歓迎します（具体的なテーマはインターン勤務開始後に決定予定）。</p> <p>2. JICAが参加する国内外の防災関連イベントの準備作業（講演を想定した関連データの収集、関連するJICA事業実績の取りまとめ、展示（パネル等を想定）物の作成等）を行っていただきます。</p> <p>3. その他、受入担当部署の指示のもとで、JICAが実施してきた防災に関連する協力実績の取りまとめ、各種広報ツールの作成等の業務補助を行っていただきます。</p>			
■参考情報			
<p>JICAの防災分野における取組みについて http://www.jica.go.jp/activities/issues/disaster/index.html</p>			
■参加（同行）可能な行事・視察等			
<p>2018年3月頃に他団体が企画する東日本大震災関連のセミナー、ワークショップへのうち参加等が可能なもの。JICAが行う研修員受入事業・招聘事業等への同行等。</p>			
c			
2018年1月 から3月 までの 3ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由:			
■希望する学位（大学生または大学院生）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可			
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
標記イベント、及び、東京近辺で開催する防災関連セミナー、イベント等			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項): _____			
■備考・留意点			

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム

一般型/中期型

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1702一本03
■部署名/事務所名:	産業開発・公共政策部	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名:	資源・エネルギーグループ第一チーム		
■テーマ			
電力・エネルギー分野における国際協力に関する情報収集/同分野におけるJICA事業に係る各種補助業務			
■テーマ(プロジェクトなど)の概要			
<p>社会経済の発展に不可欠なエネルギー。持続的社会的の実現に向けて、安定的且つ低廉、環境負荷の低いエネルギーを途上国パートナーが如何に確保するか?国際社会は如何にそれを支援出来るのか?JICA資源・エネルギーグループ(資・エG)が考え続けている大きなテーマです。</p> <p>本インターンには、電力・エネルギー分野における国際協力に関して、本人の関心及び業務上の必要性を勘案の上でテーマを特定した上で、関連情報の収集・分析を行い、JICAスタッフ等とのディスカッションを通して報告書を取りまとめていただくことを想定しています。(テーマ例:再生可能エネルギー分野のドナー動向、各ドナーの電力セクター支援方針・戦略、日本のエネルギー・電力政策との比較、etc)</p> <p>また、資・エGが実施している電力・エネルギー分野での事業に関して、資料整理や簡易な文書作成、JICA内勉強会の運営補助等、補助的な業務を行うとともに、JICAが開発途上国の能力強化の一環として実施している各種研修への同行、関係者との打合せへの同席等を通じ、電力・エネルギー分野におけるJICA事業の全体像について理解を深められるよう配慮しています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> 電力・エネルギー分野における国際協力等に関する情報収集・分析(インターネットでの公開情報、JICA資源・エネルギーグループが保有する各種資料、JICA図書館に所蔵の資料等) 上記収集情報の整理及び報告会でのプレゼンテーション資料の作成、プレゼンテーションの実施。 上記収集情報に係るレポートの作成。 電力・エネルギー分野におけるJICA事業の実施に関する資料整理(JICA事業に係る広報資料の作成等を含む)等補助業務。 JICA内部での電力・エネルギー分野に関する勉強会及び各種会議の運営に係る補助業務。 本邦研修への同行及びJICA事業関係者との打合せへの同席。 『資源の絆』プログラムに関する春の短期プログラム実施補助(2月下旬)及び研修員帰国前本部報告会(3月)実施補助。 			
■参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
途上国向け各種研修での視察先への同行(送配電分野、火力発電分野等。受入時期により変動。)、及び研修員によるアクションプラン報告会、研修評価会参加等。			
■受入時期・期間			
2018年 1月 から 3月 までの 1~3ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由:			
■希望する人材		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人可			
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
■提供可能な執務環境等(可能な項目にチェックを入れてください。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項): _____			
■備考・留意点			

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム

一般型/中期型

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1702一本04
■部署名/事務所名:	青年海外協力隊事務局	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名:	海外業務調整課		
■テーマ			
日系社会ボランティアの広報ツール（パンフレット等）の企画・作成			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>日系社会ボランティアは、ブラジル等の中南米諸国の日系人団体からの要請に基づいて派遣されるJICAボランティア事業です。中南米には、日本からの移住者やその子孫である日系人が推定210万人以上も在住しており、日本政府は日系社会を日本と移住先国との「架け橋」の役割を担う重要な外交資産であると位置づけ、「イコール・パートナー」とした様々な国際協力を推進しています。なかでも、日系社会ボランティア事業は、日系社会への技術協力、活性化支援、そして日系社会を通じた相手国の発展への支援等を目的に展開しており、これまでに青年及びシニアを合わせて10ヶ国に1,800名以上のボランティアを派遣しています。主な職種は、日本語教育、高齢者福祉、スポーツ、文化等です。</p> <p>2017年5月、外務省は「中南米日系社会との連携に関する有識者懇談会」報告書を取りまとめたが、その中にもボランティア事業を活用促進が提言されており、JICAでは日系社会ボランティア事業の充実を検討しているところです。</p> <p>こうした中、日本において日系社会ボランティア事業の広報を強化して、応募者を増やすためのツールを更新・整備していく必要があります。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>1. 日系社会ボランティアのパンフレット作成：以下の既存のパンフレットをベースに新たな構成・内容を協力隊事務局員とともに企画し、作成、発注する。 https://www.jica.go.jp/volunteer/outline/publication/pamphlet/pdf/nikkei.pdf</p> <p>2. 日系社会ボランティアのWEB情報の充実を図る。</p> <p>3. （時期が合えば）ボランティアセミナー等の広報活動に参加する。</p> <p>4. 日系社会ボランティアの派遣前訓練に一部参加する。</p>			
■参考情報			
<p>JICAボランティア事業については以下のサイトを参照。 https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
12～1月にボランティアセミナーを実施する場合は同行の上、準備作業等の業務が発生する。			
■受入時期・期間			
2017年12月中旬から1月下旬までの1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：2018年度春募集に間に合うようにパンフレット等を作成			
■希望する人材		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人可		特に無し	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
ブラジル等の中南米、日系社会に対する関心がある方			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項): _____			
■備考・留意点			

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム

一般型/中期型

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1702一本05
■部署名/事務所名:	研究所	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名:	日本の国際教育協力: 歴史と現状		
■テーマ			
日本の国際教育協力の歴史			
■テーマ (プロジェクトなど) の概要			
<p>1990年代以降、教育協力はODAの重点分野のひとつとなり、日本の教育支援の取り組みについて、特定のテーマの書籍は複数作成されてきました。他方、60年を超える日本の教育協力を振り返ると、大規模な大学設立支援プロジェクトや青年海外協力隊による教師隊員派遣など長い歴史が存在する一方で、初等教育から高等教育までの幅広い国際教育協力を体系的かつ多角的な視点から分析した書籍はこれまで存在していません。</p> <p>そこで、1950年代以降、日本政府、JICA、NGO、研究者などの多様なアクターが行ってきた日本の国際教育協力の歴史を振り返り、その変遷や特徴を含めた教育協力の歴史を包括的に記録するとともに、日本の教育支援が何を指し、どのような貢献を行い、どのような課題に直面し、克服してきたのかを分析し、今後の政策策定及び実施への示唆を導くことを目的とした書籍を作成しています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>上記の書籍の作成に関連して、以下の課題に取り組んでいただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本の国際教育協力の歴史にかかるデータ収集・整理・加工。 過去の教育協力にかかる案件リストの分析。 内外の執筆者との検討会や打ち合わせに関する事前準備・資料作成・会議運営補佐。 その他上記プロジェクトにかかるデータの収集・整理・加工支援及びプロジェクト運営に係る各種支援。 <p>これらの活動を通じて、教育開発学・国際開発学に関する学術的知見に触れることができます。</p>			
■参考情報			
https://www.iica.go.jp/iica-ri/ja/			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
■受入時期・期間			
2018年3月 から 4月 までの 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由:			
■希望する人材		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人可		教育開発	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
・国際教育協力に関連する実務経験（ボランティアやアルバイト等を含む）があることが望ましい。			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項): _____			
■備考・留意点			

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム

一般型/中期型

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1702一本06
■部署名/事務所名:	研究所	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名:	留学のインパクトにかかる研究		
■テーマ			
日本への留学による、途上国の公的セクター開発や国際関係等に対するインパクトにかかる研究			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>途上国において、行政や大学の高度人材の多くは海外留学経験を有しています。留学はこうした途上国の高度人材の知識技能の獲得、キャリア形成や意識の変容に大きな影響を与えており、そのことは、その国の政治・経済・文化・学術面での発展を支えています。また、公的セクターの高度人材の留学は、彼らの国と留学先国の間の二国間外交・国際関係にも大きな影響を与えています。このため、多くの先進諸国が、政府開発援助を通じた発展途上国からの留学生招へいを実施しています。</p> <p>そこで、日本留学経験者に対する質問紙調査及び事例国（未定。3か国程度を想定）での調査を行い、途上国の公的セクター開発や留学生受け入れ国・国際社会との間の外交・国際関係に対する留学のインパクトを検証する研究プロジェクトの立ち上げを予定しています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>上記の研究プロジェクトに関連して、以下の課題に取り組んでいただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 留学生にかかる先行研究、関連調査プロジェクトにかかる情報収集・整理・加工。 2. 過去に実施された留学経験者に対する質問紙調査にかかる情報収集・整理・加工。 3. 事例国における留学生政策、留学生動向にかかる情報収集・整理・加工。 4. 内外の研究者との打ち合わせに関する事前準備・資料作成・会議運営補佐。 5. その他上記プロジェクトにかかるデータの収集・整理・加工支援及びプロジェクト運営に係る各種支援。 <p>これらの活動を通じて、教育開発学・国際開発学に関する学術的知見に触れることができます。</p>			
■参考情報			
https://www.iica.go.jp/iica-ri/ja/			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
■受入時期・期間			
2018年3月 から 4月 までの 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由:			
■希望する人材		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人可		教育開発/高等教育	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
・国際教育協力に関連する実務経験（ボランティアやアルバイト等を含む）があることが望ましい。			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項): _____			
■備考・留意点			

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム

一般型/中期型

受入担当部署/受入事務所		登録番号	1702一本07
■部署名/事務所名:	研究所	■募集人数 (人)	1
■課名/プロジェクト名:	主任研究員/企画課		
■テーマ			
研究プロジェクト「アジアのインフラ需要推計」における都市鉄道・高速鉄道の需要推計			
■テーマ（プロジェクトなど）の概要			
<p>研究プロジェクト「アジアのインフラ需要推計」はADBとの連携により、2030年までのアジア地域のインフラ需要の推計を行うものです。JICAでは、社会インフラと、防災、都市鉄道・高速鉄道についての推計を行うこととしています。この中の都市鉄道・高速鉄道の需要推計については、まだ、開発途上国での実施気が少なく、時系列データを用いたマクロ推計ができないことから、現在まで、計画策定されたプロジェクトの集計を行ってきました。しかし、計画策定されたものだけでは、今後の都市及び国家の成長に伴う新たな建設需要の発生を反映させることができないことが課題となっていました。このような、今後需要が発生する都市（都市鉄道）及び都市間（高速鉄道）を、今後のGDPの伸びや人口予測などのデータを用いて抽出を行い、都市の経済的な能力、交通需要、自然条件などのデータを用いて、需要量を推計することとしています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>1) 各種データの収集・分析・加工 ①各国や各都市のデータの収集、分析と加工 ②データベースの作成や更新支援 2) モデル構築にかかる各種支援 3) 成果の図表化 など</p>			
■参考情報			
■参加（同行）可能な行事・視察等			
■受入時期・期間			
2017年12月 から2018年1月 までの1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：業務は次年度まで続くため、春休み期間（2、3月）の希望の場合も調整は可能			
■希望する人材		■希望する分野	
大学院生のみ		土木計画系	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他（提供可能な事項）: _____			
■備考・留意点			
業務では、英語の資料を用いるため、一定の英語の読解力と文書作成能力が必要です。			